

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (東北)	良く なっている	乗用車販売店 (エリア担当)	それ以外	・初売りが好調となっている。
	やや良く なっている	商店街(代表 者)	競争相手の様子	・今月は出だしは威勢が良かったものの、後半になるに従い尻すぼみ状態になっている。生活者は株高に浮かれるほど馬鹿ではなく、冷静さを持っているようである。ただし、何となく全体的に明るくなっているような気がする。
		商店街(代表 者)	販売量の動き	・例年になく雪に見舞われており、やはり客の足にはかなり影響を与えている。期待した初売りであったが、2日はまだしも3日の荒天に泣かされた。結果として来客数は減少となったが、ターゲットを絞って必需品をセットした福袋に力点を置き、購買単価増で前年をクリアした店もある。
		商店街(代表 者)	お客様の様子	・寒波及び積雪で年末年始セールの結果が危ぶまれたが、平年程度の集客は確保できた。新政権によるデフレ脱却の期待が、全体の雰囲気はやや明るくなってきたようである。
		一般小売店〔医 薬品〕(経営 者)	単価の動き	・今月は来客数及び販売量はそれほど良くないが、それは天気が悪いためであって、単価の動きは良く、決して景気が悪い方向に向いているわけではない。あまりにも天気が悪いので、それが来客数に響いてきている。
		一般小売店〔医 薬品〕(経営 者)	来客数の動き	・例年1月は年末の繁忙の反動から、売上がかなり悪化するのが通例である。今月の売上は3か月前と大差ないとはいえ、上記の通例をあわせて解釈すれば、やや良くなっていると判断できる。データ上、年間の平均的な客単価と比べ、今月も大きな変動が見られないので、この改善傾向は来客数の改善からきているといえる。
		百貨店(総務担 当)	販売量の動き	・初商の客の動きや販売量については、福袋といったものが、より実需に合った商品の動きになっている。数か月前より良くなっている。
		百貨店(営業担 当)	販売量の動き	・初売りに関しては前年比105%とトレンドの数値を上回っている。特にプロパーが110%と伸ばし、欲しい商品はセールを待たずに多少価格が高くても購入するという傾向が見られる。福袋も3千万円台の家の申込が5件出るなど景況感は良くなっている。
		百貨店(売場担 当)	来客数の動き	・冬のクリアランスセールのスタートを例年の2日の初商から18日スタートへ変更したことにより、スタートダッシュは厳しい状況であった。また、毎年のことではあるが、雪により客足が伸び悩んでいる。積雪は売上に直結する厳しい要因である。しかし、18日からのクリアランスセールの成功により、前年比100%まで回復してきている。客が期待する品ぞろえができていたことが勝てた要因の1つである。
		コンビニ(経営 者)	販売量の動き	・正月こそ悪かったものの、それ以降回復し、買上点数が前年比106%と伸び、それに伴って売上も106%と伸びて好調である。来客数及び単価は2、3%の上昇にとどまっている。近隣住民のリピートを増やすための品ぞろえが効果を上げた模様で、野菜、総菜等の売行きが良い。
		衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・例年盛り上がりを見せる初売り商戦は、比較的盛況であり前年を超える動きになっている。初秋にはちょっと景気が後退したかと思ったが、まだまだ当地の景況感の下向きになっておらず、少し上向いてきたようである。ただし、成人式の日から積雪が多くなり、そこから客足がばったり止まってしまった。初売りは良く、後半がちょっと厳しくなっているところだが、全体的には景気は良い。
		衣料品専門店 (店長)	お客様の様子	・来客数はさほど変わらないが、買足し需要であっても長く利用できる高単価の商品が動いており、トータルで見ると売上高は上向いてきている。
	衣料品専門店 (店長)	単価の動き	・12月は初売りを待っての買い控えが多かった。1月に入ると初売り、成人式用のスーツを求める客の来店が多くなっている。	
	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・9月のエコカー補助金終了後落ち込んでいた新車販売も、減税対象の新型車を中心に持ち直してきている。	

	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・初売りでの販売実績が好調であり、そのままの流れできている。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・政権が変わったことにより、皆が新しい政権に期待している。
	その他専門店 [靴] (従業員)	販売量の動き	・初売りは前年に比べ活気があった。また気温が低く、積雪もある状況で長靴や防滑靴などが売れている。冬物在庫の消化も順調である。
	その他小売 [ショッピング センター] (統括)	販売量の動き	・3か月前と比較し、売上高の前年比が上昇している。
	高級レストラン (経営者)	お客様の様子	・政権も交代し、円安や株高になりつつあり、何となく客の様子も上向いているようで、少し明るくなってきている。
	旅行代理店(店 長)	お客様の様子	・多くの企業において、売上が前年超えとなっているため、購買意欲がおう盛である。
	通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・例年に比べて新規の加入者は大幅に減少している。そんななかで3か月前と比較すると、新規の加入者は減ってきているが、解約者も減ってきたため、トータルで見ると若干ではあるが良くなってきている。
	その他サービス [自動車整備 業] (経営者)	来客数の動き	・例年より来客数が20%ほど伸びている。そして、良感触の客が多い。
変わらない	商店街(代表 者)	来客数の動き	・1月に入り、急激な寒さと悪天候のため、来客数及び来街者数が減少している。前年は多かった観光客も減少に転じているので大変苦戦している。
	一般小売店[書 籍] (経営者)	来客数の動き	・特に変化は感じられない。
	一般小売店[カ メラ] (店長)	販売量の動き	・低価格商品の販売量は横ばいで推移しているものの、高額商品の販売量は減少傾向であり、来客数も落ち込んでいる。
	百貨店(売場主 任)	来客数の動き	・初売りは今までにない悪天候で、入店客数、レジ客数共に前年を下回っている。クリアランス商戦は大きな盛り上がりはないものの、降雪で荒れた天候以外での落ち込み要因は無く、客の購買マインドは衰えていない。様々なギフト目的での来店も多い。
	百貨店(企画担 当)	販売量の動き	・初売り、セールなどイベントに対しての来客数は微増となっており、消費マインドも上昇傾向にあるが、実質は客単価の低下など、不要不買のペースは変わっていない。また、天候も大きく影響している。降雪量が前年の倍以上となり、足元が悪く、高齢者の来店数は減となっている。
	百貨店(経営 者)	来客数の動き	・食品セルフゾーンの来客数が落ちている。要因は消費者の生活防衛意識がより強くなっており、百貨店よりプライスの安い郊外の大手食品スーパーへ流れているためとみられる。
	百貨店(経営 者)	来客数の動き	・単発だが催事、イベントでの来客は多い。クリアランスや慣習企画、歳時、デイリーな部分での集客が少なく、消費がまだまだ活発化していない。ただし、美術、貴金属など高額品の微増が続いている。
	スーパー(経営 者)	来客数の動き	・青果物の売価が上がって、その分売上はプラスである。来客数や単価は下げ止まったという実感がある。ただし、上に向いているようでもない。下がったままである。
	スーパー(経営 者)	単価の動き	・買上点数の推移はやや鈍化しているが、平均単価は前年並みで推移、来客数の推移も変わらず、同じ状況が続いている。
	スーパー(店 長)	販売量の動き	・来客数は微減だが、買い回りにより買上点数が伸びない。チラシ日替りの強化、ポイント還元率のアップ、更にはチラシエリアの拡大と競争は一層厳しくなっている。
	スーパー(営業 担当)	販売量の動き	・価格を打ち出したチラシ、週末のチラシでは客が来店し点数も動くが、その分平日の点数が前年同期に比べて伸び悩んでいる。
	スーパー(物流 担当)	単価の動き	・前半は客単価も上がっていたものの、半ばより3か月前の状況と同じ動きとなっている。競合店のチラシ価格によって動く客の動きは変わらず、客単価の下落は止まっていない。
		コンビニ(経営 者)	来客数の動き

コンビニ（エリア担当）	競争相手の様子	・来年度も競争店の新規出店が加速する。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・たばこ購入者の減少が続いている。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数はほとんど変わらない状況である。相変わらず建設業を中心とした職人の客は増えているが、一般のサラリーマンはやや厳しい状況なのか、買い控えが見られる。
衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・冬物セール品の購買に関しても客のマインドはシビアで、単価も数量も前年に比べて落ちている。
衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・取引先からはネット等で価格の比較をされ、値引きの要求が厳しくなっている。いかに付加価値を付けて販売するかが問われている現状である。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・天気が悪く吹雪いていると、外出も控え商店街を歩く人も少ない。
衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・政権交代により景気回復の期待感はあるものの、実際にはまだ現れていない。販売量も単価も上昇していない。
乗用車販売店（店長）	お客様の様子	・来客数も横ばいかそれ以下で推移し、市場が動いているようには見えない。政府の景気浮揚策も徐々に発表されているがしばらく先の話のようで、市場があわただしく動き出すまでに至っていない。
自動車備品販売店（経営者）	お客様の様子	・大雪による自動車板金入庫、除雪車関連の補修が前年より多いものの、エコカーへの買換えの影響で車検台数は激減し、車両が新しくなったことにより補修車も大分減っているため、相殺されている。その他、土木建築や大工、屋根板金などは軽トラック、小型重機を使用しており、にわか排雪業が忙しいようである。
その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・飲食店への販売量が低いところで横ばいの状態である。イベント等で多少動くことがあっても一過性のもので、終わればすぐに戻るといった状況が続いている。雪の影響も大きく、人が動かないので物も動かないという悪循環になっている。
その他専門店〔食品〕（経営者）	販売量の動き	・アベノミクス効果で期待感を持っている人はいる。しかし、疑心暗鬼になっている人も多く、もうしばらくは様子見をしているようである。特に中小零細の、輸出に関わらない企業を取り巻く状況は一層厳しさが増している。客の安価な商品への依存度は低下していない。
その他専門店〔酒〕（営業担当）	販売量の動き	・地元では豪雪等の影響もあって、新年会などの飲食店の動きが非常に悪い。家庭向けの商材も思ったほどではない状況である。2月の雪祭り等のイベント関連の動きに期待したい。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	単価の動き	・販売数量の前年割れが続いているため、単価を下げる動きが出てきており、相変わらず収益を圧迫している。為替が円安に動いており、仕入価格が上昇傾向になっているため、更に収益が下がっている。販売が伸びていないため、価格転嫁の動きが業界全体で鈍くなっている。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・寒さが厳しいにもかかわらず、灯油販売が前年割れしている。消費者の節約意識が浸透している。
高級レストラン（支配人）	単価の動き	・新政権になり株価安や円高の是正に期待感はあるものの、円安は原材料の値上げに直結し、給与が増えないなかではかなりの不安感が残る。客の落とす金額もシビアである。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・天候のせいなど様々な点を考慮しても停滞している。おそらく、レストランという業態が特に悪いのではないかと。知り合いの居酒屋などはまずまずの集客だと聞いている。レストランという少し高級なイメージのある所は客が遠ざかっているようである。
一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・政権が代わったことにより、良くなる雰囲気はあるのではないかと期待感が先行しているようである。しかし、同業他社と話をしても、景気の良さはまだまだ見えてきていないのが現状である。
観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・年末年始は予想どおりの入込があった。しかし、内容を見ると特に1次産業の客の減少が目立つ。1日も早く、来客のバランスが良くなればと思っている。そうなれば、リピーターも増え、本来の姿に戻るのではないかとこのような状況である。

都市型ホテル (スタッフ)	単価の動き	・レストラン及びデパート地下のデリカ各店については利用人員が増加しているものの、消費単価については落ち込みが続いている。購入品目については、明確な目的を持って買物をしている傾向が見られる。特にレストランについては接待利用が減少してきており、ここへきて法人、個人共に消費が低迷しているのが如実になっている。特に忘新年会は法人の需要が大きく落ち込んだが、これについては選挙の影響が少なからずあったと分析している。	
タクシー運転手	販売量の動き	・売上は変わらない。変わらないということは変化がないということである。ただ、雪が降ったときは結構乗客がいる。特に会社に行く時間や退勤時間は忙しい。雪が降るとお年寄りは病院に行かず、主婦は買物に行かず、みなさん夜は飲みに行かなくなる。また、雪の日が忙しい原因としては道路の状況が悪くなることに加え、普段車を出さない人が出するため、道が混むということもある。基本的には3か月前と変わらない。	
タクシー運転手	来客数の動き	・季節的に新年会や歓送迎会の期待をしたが、非常に少ない状態である。	
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・ニュース等では景気上向きの話もあるが、まだ実感が無い。	
通信会社(営業担当)	来客数の動き	・来客数の動きは徐々に良くなっている。特に初売りは前年の30%増しである。携帯電話業界は今後、春の商戦が気になっていたが、1月のはずみで3月の需要を大幅に上方修正する見込みである。	
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・一部スーパーマーケット業では回復しているとの話は聞くが、全般的には変わらない。	
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・客からヒアリングした中身を見ても、景気が改善している内容は見当たらない。	
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・顧客の購買意欲に変化は見られない。	
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・本業の取引先からはあまり好況感を感じないが、政権交代による好況期待感は大い。また、連日報道されている円安株高は一長一短ではあるが、期待感が増すばかりである。ただし、現況では総じて景気が好転していると感じるに至らない。	
遊園地(経営者)	来客数の動き	・今月は9日間のみ営業であったが、前年比6%の減となり、単価は更に下がってしまった。本格的な寒さと成人の日の雪でやむを得ないところである。	
美容室(経営者)	単価の動き	・3か月前と同様、カラーやカットにプラスで何かをするということがなかなかない。それだけ財布のひもが固く、目的がはっきりしているということのようである。	
美容室(経営者)	単価の動き	・シャンプーやパーマ液材の値上げが続いているが、施術料金を値上げするにもなかなかできない。	
設計事務所(経営者)	お客様の様子	・震災による建て替え住宅関連の仕事は少し落ちついてきている。その他の建物等の話は聞くようになったが、実際に着手するまでは少し時間がかかりそうである。	
住宅販売会社(経営者)	単価の動き	・受注量及び見込み数は上がっているが、競合も多く粗利が下がっている。	
その他住宅[リフォーム](従業員)	来客数の動き	・受付件数が減ってきている。	
やや悪くなっている	一般小売店[スポーツ用品](経営者)	販売量の動き	・店頭販売が前年比で15%位下落しているの、このまま店頭売りが下がっていけばかなり厳しい状況になる。郊外大型店の無料送迎バスは今日も立ち席が出るほど満杯である。
	スーパー(経営者)	お客様の様子	・12月後半から雪及び寒さが続いている。また、消費税増税、電気料金値上げ等、具体的に支出が多くなるという部分は先の話だが、そういった不安が買い控えをさせている要因になっている。
	スーパー(店長)	販売量の動き	・寒気の強まりによる野菜価格の高騰など、消費低迷要素が多く見られる。また、正月明け頃から、客の儉約ムードも強く、買上点数及び客単価の減少で売上が低迷気味である。
	スーパー(店長)	お客様の様子	・店内で買物をする様子を見ても、商品を買う買わないでかなり慎重になっている。
	コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・前年から引き続き、来客数の前年割れが続いている。

コンビニ（店長）	来客数の動き	・12月に近隣に新店ができたせいで来客数が減っている。当県全体のトレンドとしても前年を割っている。単価は変わらないが来客数が減っている。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数が前年比7割の状態が続いている。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・目立つ商品も無く、期待できる新製品の発表もないので、来客数は月を追うごとに減少しているようである。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数は前年比94%と減少している。電化製品では暖房コーナーがまずまず調子は良いが、テレビは相変わらず悪い。
住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・広告を打っても以前より効きが鈍く、来客数も減少し、客単価も下がっているため、前年売上をクリアできない。
住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・耐久消費財を扱っているのでは冬はそう動かない。季節商材の学習机やひな人形等々で売上をカバーしているが、少子化も相まって販売量が伸び悩んでいる。
その他専門店【パソコン】（経営者）	販売量の動き	・この時期にきて実働の販売数が激減している。周りからもそういった声が聞かれる。
その他専門店【白衣・ユニフォーム】（営業担当）	販売量の動き	・マスコミでは盛んに景気が上向きつつあるようなコメントがあるが、現状は相変わらず商品の動きが良くない。特に防寒衣の動きが少なくなっている。
高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・年末などは人も金も活発に動いていたが、その反動で経済的に余裕がなくなり、財布のひもが固い。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・外食業界はおしなべて来客数が減っているが、当店においてはそのなかでも更に悪いようである。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数が例年の1月よりはかなり減っている。新年会はまだまだあまり無く、一般客も例年の1月よりはかなり悪い。
観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・県外の復興支援の客も少なくなり、地元の企業の新年会も一部の業種を除き低迷している。かろうじて3が日及び週末が良かった。なお、正月の繁忙は連休続きで多少長かった。
都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・度重なる寒波で、客は外を歩くのを諦めている。早く帰って雪かきもしなければならぬし、寒さ対策もしなければならぬというひっ迫した心理状況に追い込まれており、当県が全体的に伸びて行かない理由となっている。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・一般宴会の件数は、新年会を中心に前年並みに推移しているが、動員数は減っている。宿泊部門はオフシーズンということもあり稼働率は伸びず、レストランの利用も少なく、外来客も天候に左右され苦戦をしている。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・被災地ということで前年来復興特需が続いていたが、個人、団体共に来客数が前年を割り始め、来月以降の予約状況も前年同時期と比較して少なくなってきた。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊、宴会、レストラン部門のすべてで利用人数が前年より減少している。
旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・旅行代理店においては先の予約や売れ方をみるというのが通常だが、3月の春休みなどは予約の状況が前年より多少落ち込んでいる。
タクシー運転手	単価の動き	・安い車を探して乗る客が増えてきている。
テーマパーク（職員）	単価の動き	・3か月前は復興団体の利用があり、お土産需要も好調であった。年始より堅調に推移しているが、3か月前と比べると80%程度となっている。
観光名所（職員）	来客数の動き	・震災後、順調な回復の兆しを見せていたが、ここに来て来客数が前年を割る結果となっている。今のところ予約状況も良くなく、3か月前と比べるとやや悪くなっている。
観光名所（職員）	来客数の動き	・寒さや降雪量の多さの影響とみられるが、例年に比べ来客数が少ない。
悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子
	商店街（代表者）	来客数の動き

・前年末から下がり気味で、年が明けてそれがかなりひどくなったようである。社用、個人用共に全部低調である。

・寒さが厳しく、来客数が少ない。

		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・今年は例年になく1月の雪が多い。道路は凍ってしまうので早目に帰る人が多く、繁華街は夜になると人がほとんど出てこない状況が続いている。前年比で2割減、3か月前比で1割は確実に夜間の客が減っている。	
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・前年12月中に作りきれなかった布団作りが今月に持ち越されたため、仕立ての仕事はあるが、二次製品の動きが止まっている。	
		コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・競合店の出店で売上が下がっている。	
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・寒い日が続き、積雪も多くて来店者数が少ない。冬物の品ぞろえも偏って、なかなか売上に繋がらない。	
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・復興需要並びにエコカー補助金による先食いの反動が見られる。そして、寒さと大雪の影響により、来客数も大幅な減少を余儀なくされ、大型の初売りセールも不発に終わった。新年のスタート月の新車受注は前年に比べ約3割減、販売は2割減と大苦戦中である。	
		住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・当店は小さいので初売りもしていない。それ以外にも企画らしい企画も行っていないので、どうしても売上の落ち込みがひどい。	
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・前月は思っていた以上に前年との差がなかったの で、1月の静かさには正直驚いている。景気回復につながる具体的な案がまだ発表になっておらず、将来に対する不安が大きくなってきている人が多いようである。	
		観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・予約数が伸びない。冬季はいつも苦戦するが例年以上である。休館日が例年より多く、単純に売上が少ない。運営で経費節約を心がけるも限界がある。	
企業 動向 関連  (東北)	良く なっている やや良く なっている	-	-	-	
		繊維工業（経営者）	それ以外	・政治的にも期待を持ってそうである。為替においても円安になり、製造業の我々においては何となく重しが取れていくようである。	
		木材木製品製造業（経営者）	取引先の様子	・住宅の需要が上向きとなっている。	
		一般機械器具製造業（経営者）	それ以外	・自動車部品については、需要そのものが増加しているわけではないが、為替がやや円安に動いたことにより、輸出環境は良くなってきている。	
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・良くなった最も大きい要因は、円安による輸出業績の改善である。	
		広告業協会（役員）	それ以外	・今年の初売りは前年を上回っている企業が多いようである。引き続き2～3月も新聞、テレビ、折込広告関係は引き合いが多い。また、イベント関係も活発になってきていることは景気の回復を示している。	
		広告代理店（経営者）	取引先の様子	・取引先からのヒアリングで積極的な話題が多い。	
		経営コンサルタント	取引先の様子	・円安基調が定着するとみて、企業の先行きに明るい展望を持ち始めている。	
		司法書士	取引先の様子	・中古物件を中心に住宅の売買事例が増えている。	
		コピーサービス業（経営者）	それ以外	・政権が変わり、政策も見えてきて気分が前向きになってきている。引き合いも多くなってきている。	
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・非常に厳しい寒さが続いているせいか、冬物の商品が非常に好調である。また、株高や円安の関係で明るい兆しが出ていることが販売量に結び付いているようである。	
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・先月末ごろより出荷が回復している。特に百貨店向けで数字の良い状態が続いている。飲食店向け、大型小売店向けの出荷は安定している。	
		その他企業〔工場施設管理〕（従業員）	取引先の様子	・「八重の桜」や白虎隊のドラマの影響で観光客が増え、それにあやかっていたグッズやお菓子などの販売も促進されており、景気が上向きになっている。	
		変わらない	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・初売りは動きもよく期待していたが、初売り以降は逆に動きが悪くなっている。好調であった駅近辺の店も今月は動きが悪い。
			食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が伸びていない。
出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き		・特に役所関係の仕事の量が減っている。		

		土石製品製造販売（従業員）	受注量や販売量の動き	・震災以降は修復作業に追われ、新しい事業は滞ったままである。
		電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・単発の仕事が入っているところがほとんどで、仕事とぎれとぎれの状態である。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末で公共の営繕工事が出てきているが、前年度より多くなっている。
		建設業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・国及び自治体から多く案件が出件されたが、現状では大きな変化はない。
		輸送業（従業員）	それ以外	・特定水産物は季節的なもので多少増加しているが、他の貨物に目立った変動は見られない。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・顧客の反応は冷ややかながら、受注量的には順調な推移をみせている。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・経費削減を優先している。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・政治次第である。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・今冬は降雪量が多く、除雪関連の需要は多い。設備投資に関しては介護施設及びメガソーラー以外は大きな変化は見られない。
		金融業（広報担当）	取引先の様子	・政権交代後の市場動向により期待感を持たれているものの、経済活動の動きとしてはまだ大きな変化は見られない。
		広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・政局の変化による経済効果はそろそろ出始めているようだが、売上に寄与するのは来月からではないか。そういった意味で3か月前と変わらない。
		公認会計士	取引先の様子	・クライアントの月次、決算状況を見ると、ある程度の売上、利益は確保しているが、小康状態が続いている。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	取引先の様子	・相変わらず地場の住宅会社の受注が飽和状態である。飽和状態といっても好況を指すのではなく、供給力が追い付いていないことを指している。質の低い住宅建築に関心が高まり、棟当たりの価格が低下傾向にある。
	やや悪くなっている	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・前年秋に農協へ出荷したりんごの最終精算書が届いた。販売単価が震災前の7割程度であり、風評被害がいまだに続いていることがうかがえる。
		農林水産業（従業者）	それ以外	・作業機械用の軽油等の燃料価格が徐々に上昇してきている。
		出版・印刷・同関連産業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前の売上は前年を上回っていたが、前月、今月は前年を2%程度下回っている。
		建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・自治体を中心に地元向けの工事発注志向が顕著であり、大手業者向けの案件は少ない状況が続いている。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主要荷主の商品の輸送手段の一部変更により、当社の取扱数量の減少が見込まれる。なおかつ、物流コストの削減を求められ、これが長期にわたることが予想される。
	悪くなっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年12～1月は受注の落ち込みが顕著に現れる傾向があるものの、取引先の設備投資凍結等の影響により一層落ち込んでいる。
雇用関連	良くなっている	アウトソーシング企業（社員）	それ以外	・東京の顧客から復興関連の仕事がきている。
(東北)	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・今の大学3年生の就職活動の動きでいくと、不人気な業種への応募が少なくなってきたおり、外食やアミューズメントの企業が説明会の集客を苦戦している。求職者である学生が選ぶだけの選択肢があるのではないかと推測している。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・企業からの人材紹介依頼が増えてきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・地元の景気を占う初売りは天候にも恵まれ、回復景気で沸いた前年を超えるのは難しいと思われていた予想を覆し、それを上回る売上が各流通が上げている。この傾向は求人にもいづれ反映してくると予想される。ただ、その後、大雪等にもあい、パーゲンが不発で、1月は前年並みのようである。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・政権が変わり、円安・株高に流れている状況は、雇用主の採用意欲を刺激しているのは間違いない。ただ、多くの業種でまだ慎重姿勢は崩れておらず、雇用まで至っていない。

	新聞社 [ 求人広告 ] ( 担当者 )	周辺企業の様子	・12月の選挙以降、3か月前より前向きな広告出稿の話が増えている。既に半年後までの具体的な出稿の申込があるものもあり、やや景気が上向いている様子がうかがえる。
	職業安定所 ( 職員 )	求人数の動き	・新規求人数は引き続き前年比で増加しているものの、増加率がこれまでの2けた台からここ3か月は1けた台の増加率で推移しているのが気になるところである。
	職業安定所 ( 職員 )	求人数の動き	・月間有効求人数は20か月連続で前年比20%以上の増加となっている。また、新規求人数は3か月連続で前年比2けたの増加となっている。
変わらない	人材派遣会社 ( 社員 )	それ以外	・好景気に沸いているのは偏った業界のみである。
	職業安定所 ( 職員 )	周辺企業の様子	・依然として従業員の解雇などの雇用調整の動きが続いている。
	職業安定所 ( 職員 )	周辺企業の様子	・年度末が近づき、業務量が増加している企業は見受けられるものの、例年並みまでには至っていない。また、一方では業務量が減少しており、再び休業したいといった相談も増加している。
	職業安定所 ( 職員 )	求人数の動き	・求人増加傾向には伸び悩み感はあるが、依然高水準で推移しており、求職者の減少傾向が引き続きみられるため、有効求人倍率も1倍付近での推移が続いている。
	職業安定所 ( 職員 )	求人数の動き	・求人倍率は引き続き改善しているが、景気が上向きであるということを実感する場面は乏しい。
	職業安定所 ( 職員 )	求職者数の動き	・求人数は前年比で増加傾向が続いているものの、求職者数もここ数か月微増が続き、有効求人倍率が停滞傾向にある。
	職業安定所 ( 職員 )	周辺企業の様子	・基幹産業である製造業の求人が前年同月の半分以下になっている。本来、不況に強いといわれる食品関係製造業も求人は前年同月より60%以上減少している。
やや悪くなっている	人材派遣会社 ( 社員 )	求人数の動き	・12月は選挙関連受注がありながら売上及び営業利益が前年比でマイナスと低迷した。構成比率の高い中心都市において、好材料、新規案件に不足感があり、3か月前と比してやや悪くなっている。
	新聞社 [ 求人広告 ] ( 担当者 )	求人数の動き	・運輸、運送関連の求人は堅調であるが、サービス業関連の求人が減っている。また、求人広告に表れないが介護関連は人手不足となっている。
悪くなっている	-	-	-